大田高校学校だより

泰山木

Taisanboku

第127号

令和８年３月１日

島根県立大田高等学校

絵：宇田川沙紀（美術教員）

たかが３％されど３％

校長　阿部　志朗

二年ほど前から、昔、大田市内で採掘され国内有数の生産量を誇った「石こう」について、調査・研究のお手伝いをしています。

「石こう」は、骨折の際のギブスや黒板のチョークなどに使われていますが、その大部分はセメントの原料の一部として使われていました。セメントの主原料は山口県などで産出される石灰岩です。そこに少量の「石こう」を混ぜてセメントが作られ、ビルやダムやトンネルに使われます。今から約50年前までは、この大田の「石こう」が日本の高度経済成長を支えていたといっても過言ではありません。

その割合はたかが３％。されどその３％の「石こう」がないとセメントは、白くならないしうまく固まらないのだそうです。

３％といえば、大体１／30～１／40。これを学校のクラスに例えると大体一人分にあたります。

かつて、セメントの３％の大田の「石こう」が国内の発展を支えたように、クラスの一人一人の力を大切にして、大きなパワーを生み出し、いずれは地域や日本、そして世界の未来を切り拓く人材になっていくように、教職員一丸となって、夢や目標の実現を支えてまいります。皆さま方におかれましても、そんな大高と大高生に対しまして、益々のご支援ご協力をお願いいたします。

新たなＰＴＡ活動に向けて

ＰＴＡ会長　森脇　彰

本年度もＰＴＡ活動に対し、保護者の皆さま、地域の皆さま、そして教職員の先生方には多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。行事や委員会活動を通じ、子どもたちの学びと成長を支えることができましたのも、皆さま一人ひとりの支えがあってこそです。

この春、本校を巣立つ卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間の学校生活で培った経験や出会いは、これからの人生を支える大切な財産となることでしょう。また、これまで温かく見守り、支え続けてこられた保護者の皆さまにも、ＰＴＡを代表し深く感謝申し上げます。

さて、近年ＰＴＡを取り巻く環境は大きく変化しています。本校ＰＴＡでは、今までの運営面の見直しについて意見を交わしてきました。法律、制度に照らし合わせ負担の軽減と参加しやすさを大切にしながら、社会教育団体として学校と家庭をつなぐ役割を今後も果たしていきたいと考えています。

これからも、子どもたちの健やかな成長のため、皆さまと共に歩むＰＴＡであり続けられるよう努めてまいります。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

卒業生へ 贈る言葉 保護者より

創造する力とともに

西上　基道

入学式の日、校長先生は「ＡＩが発展する時代だからこそ、人にしかできない創造する力が重要になる」と述べられました。三年間の高校生活を振り返ると、皆さんは知識や技能の習得にとどまらず、自ら考え、判断し、行動する力を確実につけてこられたように思います。授業や部活動、学校行事の中では、正解が一つではない課題に向き合う場面も多くあったことでしょう。その中で仲間と意見を交わし、時には迷いながらも試行錯誤を重ね、一つの答えを形にしてきた経験は、これから進学や就職といった新たな環境に進む皆さんにとって、かえがえのない財産となります。

これからの社会では、ＡＩが知識や効率を支える場面はさらに増えていきます。しかし、何を大切にし、どの道を選び、どのように生きていくのかを決めるのは、人の思考と創造力です。迷いや不安に直面したときには、高校生活で培った「自ら考え、創り出す力」を信じてください。皆さん一人ひとりが自分らしい未来を切り拓いていくことを、私たち保護者は心から願い、応援しています。卒業おめでとう。

メッセージ

岩谷　和樹

「この参考書から問題出してや。」
「どれでもいいだ？」
「どれでもいいけ。大体憶えたけ。」
「お前すごいな。」
「父さん、分からんだ？」
「そんなマニアックな事までは分からんで…。」

高校三年生になり、親子でこんな会話をするようになった。

高校二年生の冬。下を向いて元気がない息子が約半年ぶりに話しかけてきた。

「俺、どうしたらいいんかな…。どうしたらいいか分からんわ。」

ここまでうなだれる息子を見るのは初めてだ。半年前まで父と息子は口を開く度にぶつかってきた。家での生活態度のこと、学校のこと、勉強のこと。あまりにもぶつかりすぎるので、お互いに話すのをやめた。

「色々きついことを言うかもしれんが、いいだ？」
「いい。今だったら何でも聞ける気がする…。」

息子は悩んでいた。将来のこと。勉強のこと。日付が変わるまでお互いに話を聞き合った。この一日を境に息子の反抗期は終わった。

高校を卒業する皆さんに、何か言葉を贈ろうと考えるのですが、見つかりません。しかし、伝えたいメッセージは見つかりました。

『声を聴ける人であれ。』

皆さんの故郷からこのメッセージを送り続け、大いに活躍することを願っています。卒業、おめでとう。

「ありがとう」を翼にかえて

長里　春美

卒業おめでとう。この三年間皆さんはこの故郷の穏やかな空の下、たくさんの経験を重ね大きく成長しました。毎日頭をフル回転させて学んだ授業、汗だくになり、時には涙した部活動、全校あげて成功させた大高祭。たくさんの行事を通じて、仲間と心を寄せ合う事の大切さを学んだことでしょう。

皆さんが今日まで成長してきたのは自分自身の努力はもちろんですが、悩み立ち止まる事があっても、いつも励まし合える友がいて、支えてくださる先生方、見守り続けてくれる地域の方々や家族の存在がありました。励まし、支え、見守り続けた方々への「感謝」の気持ちを、どうか大切に持ち続けてください。「ありがとう」と言える素直な心は、新しい世界へ羽ばたく皆さんにとって、何より強く優しい武器になることでしょう。

春からは、学舎を離れ、新しい環境での生活のスタートです。どこへ行っても、この故郷は皆さんの味方です。いつまでも見守ってくれています。ここで育んだものを誇りに、自分を信じて、一歩ずつ歩んでいってください。

皆さんの未来が、感謝の笑顔に満ちた、輝かしい人生になることを、この故郷から見守っています。

卒業おめでとう。そして、ありがとう。

今を生き切れ！

坂井　務

我が家の末っ子が遂に卒業を迎える。ついこの前まで、サンタという重責を担い、その正体を隠し通していたのに、今では「いつから気づいてた？」と笑い合えるようになった。サンタの正体とは、いつの世も子供を想う親心そのものだったのだなと振り返る。

皆さんはこの三年間、学業や部活動等を通じて何を得ただろうか。ある卒業生はそれを「人との縁」だと語った。大高で得た恩師や友との素晴らしい出会いは、一生の宝となるはずだ。

「人生、出会うべき人には必ず出会う。しかも、一瞬遅からず、早からず。しかし、内に求める心なくば、眼前にその人ありといえども縁は生じず（森信三）」この言葉を胸に、これからも出会いを大切にし、他者への敬意と優しさをもって大いに学んでほしい。縁を結ぶのは、常に自分自身の「求める心」であることを忘れないでほしい。

これから皆さんが歩む社会は、甘い考えでは淘汰されてしまう厳しい局面もあるかもしれない。だからこそ、いまこの瞬間にあなたの全力を尽くし、自分だけの良さを発揮してほしい。

過去を悔やまず、未来を憂えず。あるのは永遠に続く「いま」だけだ。いまを生きよ！いまを全力で生き切れ！皆さんの前途を祝し、エールを送る。

卒業生へ贈る言葉
クラス担任より

哀しくていや嬉しくて

三年一組　担任　原田　正

待ちに待った何の制限もない普通の入学式…　あれから早いものでもう三年が経とうとしています。早過ぎますよ、もう卒業なんて…

心のどこかで「もっとやれたんじゃないか」と悔いたことがあるのなら、今からでも遅くはない。今からやればいいんよ。うまくいかないこと、そりゃあるよ。あるに決まってる。そんなときは、すぐに諦めずに無駄な抵抗をしてみる。「試されとるなあ」って笑えたらもうけもの。案外、人が助けてくれて解決なんてこともあるよ。

この三年間、決してひとりでは生きてゆけなくて、常にあなたたちの人柄と笑顔に愛され、生きる元気と勇気をもらい続けました。あなたたちは、この先の未来がどうなるのか、気持ちがどう変化するのか誰にも分らないけれど、今この瞬間に大切な家族や友人がいて、その人を心の底から思いやる気持ちだけは揺るがないたしかなこと。今愛する（愛される）人と共に生きているという真実。とっても幸せなことなんだよ。

未来へ羽ばたいてゆくあなたたちと出会えて本当によかった…
嬉しくて嬉しくて…
言葉にできない…
本当にありがとう

青　空

三年二組　担任　中島　優希

このメッセージを書いている今日は、二月十日です。卒業式まで、あと十八日になりました。君たちが入学してきたのは、三年前の四月十一日。よく晴れて暖かい日でした。その日から三年、私は毎日、君たちに幸せをもらっていました。すべて君たちのお陰です。優しくて素直で朗らかで、自分も他者も大切にできる、ちょっとおっちょこちょいな所はあるけれど、それがまた愛おしくて…君たちに出会えた運命に、本当に感謝しかありません。

思えば、君たちの晴れ舞台は、いつも青空が見えていた気がします。天気が心配された日でも、いつの間にか黒く厚い雨雲は消えていき、最後は太陽と青空が見えていました。きっと、君たち一人ひとりが、周囲を温かく照らす太陽のような人だからだと思います。私は何度も、君たちの温かさに救われました。もちろん雨も悪くない、けれど君たちには、青空がよく似合うと思います。

さて、卒業式はどんな天気になるのでしょう。もしかしたら…。でも、人生はそんなものかもしれません。予測不可能な社会の中では、思い通りにならないことの方が、ずっと多いような気もします。でも、大丈夫。君たちはどんな状況になっても、きっと輝けます。だから、本当は、快晴でも嵐でも、関係ないのかもしれません。君たちこそが太陽で、君たちがいれば、どこでも青空だから。

卒業式、どんな天気になったのか、答え合わせしましょうね。

自分で決め、選んだ道を
～その①～

三年三組　担任　井上　慶子

あの人になりたい」と思ったことはありますか？私はあります。「あの人になりたい」＝「あの人と同じでいたい」と考え、誰かと同じでいること・真似をすることが自分の安心材料になっていました。それは自信がなかったからです。しかし、現実には誰かと常に同じでいることなどできませんし、羨んでいるだけでは何も変わりません。そんなときに出会ったのが「ロールモデル」という考え方です。考え方や行動を手本にしたい人物を持ち、「あの人ならどう考え、どう行動するだろうか」と自分の意思決定の参考にします。そこにあるのは、真似ることではなく、大田高校のグランドデザインにもあるように自分で決め・行動する姿勢だと思います。

「自信を持ちなさい」と言われることがありますが、簡単に持てるものではありませんし、無理に持つ必要もないと思います。迷いながらでも自分で決め、行動し続けることの積み重ねによって、ふと気づいたときに自信が持てるようになっている気がします。

卒業生のみなさん、ありきたりな言葉ではありますが、人生は選択の連続です。不安を抱きながらも、「真似る」のではなく、自分の力で「決め・行動」してください。ご卒業おめでとうございます。

自分で決め、選んだ道を
～その②～

三年四組　担任　朝槻　真也

みなさんは次の言葉の意味をどのように捉えていますか？

「終わりよければすべてよし」…①

①はとてもポジティブな印象を与えます。部活動の大会でミスが目立ったけれど試合には勝つことができたとき、面接練習を何度やっても手ごたえがなかったけれど合格を勝ち取ったときなど、①を言いたくなる（思い浮かべる）場面は結構あります。ですが、その反面、私には①が「過程などどうでもいい。結果がすべてである。」という冷たい言葉にも聞こえてしまいます。もちろん「結果の良し悪し」は気になるところですが「得た結果に納得できるかどうか」が大切なのではないでしょうか？そして、結果に納得できるかどうかは「自分で決断や選択をしてきたかどうか」で決まると思っています。

私は、今の自分に満足はしていません。ですが、今に至るまでさまざまな状況を踏まえたうえで、自分で決め、自分で選んできました。それによって今があると思えているため、納得はできています。

三年間ともに過ごしてきたみなさんには、ぜひとも結果が得られるまでの自分の決断や選択を大切にして、これからの人生を歩んでいってもらえたらと思っています。三年間ありがとうございました。

学校行事 フォトアルバム

遠足

県総体 壮行式

芸術 鑑賞会

オープン ハイスクール

球技 大会

２年普通科 研修旅行

１年理数科 研修旅行

２年理数科 研修旅行

大田市議会「おでかけトーク」

校内ロードレース大会

理数科課題研究発表会

探究学習成果発表会

全国大会

美術部

陸上競技部

卓球部

将棋部

三年間の思い出
卒業生より

一組　土手　悠翔

大田高校で過ごした三年間は、振り返るととても短く感じます。入学当初は新しい環境での生活に不安を抱えていましたが、日々の学校生活や数々の学校行事を重ねる中で次第にその不安は薄れ、期待を感じる瞬間が増えていたと思います。

部活動は、高校入学を機に新たな分野に挑戦しました。周囲の経験者とは大きな差があり、同じ練習に取り組むことさえ容易ではありませんでした。しかし、経験の有無に関わらず部員全体で練習を作り上げていく環境が、私にとって続けていくための大きな支えとなりました。

学校行事では、遠足や大高祭、研修旅行など、数多くの経験をしました。どの行事も日常とは異なる学びがあり、今ではかえがえのない思い出です。また、三年次は最後の部活動や最後の授業と、「最後」を意識する機会が増え、終わりを迎える寂しさの中で、何気ない日々の価値を強く実感しました。

これまで勉強と部活動を両立し、進路を決定できたのは、先生方や両親、友人の支えがあったからこそです。今まで与えてもらった経験を糧に、今後は周囲に還元できるよう進学先でも努力します。三年間ありがとうございました。

二組　中村　快利

休み時間の喧騒、放課後のグラウンドに響く足音、岩谷会館の張り詰めた空気。卒業を迎えた今、何気ないこれらの日常がかけがえのない思い出として私の胸に輝いています。

私はこの三年間勉強や部活動において成長を感じる経験ができました。中でも、生徒会長として過ごした一年は大きな転換期となりました。就任前は期待よりも不安の方が大きく、「本当に自分に務まるのだろうか」と迷いもありました。しかし、生徒会活動に取り組む中で、一人の力ではできることに限りがあり、仲間や先生方、そして全校生徒の協力があってこそ物事が前に進むのだと気付きました。意見がぶつかり合い、思うようにいかず悩んだこともありましたが、「応援される学校とは何か」を考え続けたことで、私は責任感と実行力を養うことができました。また、自分の意見をしっかり持ちつつ、他者の気持ちにも思いを馳せることで話し合いにより問題解決していく力を学ぶことができました。この経験を今後の人生にも生かし、前進していきたいと思います。これまで支えてくださった先生方、地域の皆様に感謝いたします。最後に、いつも寄り添ってくれた友達、家族のみんなありがとう!!

三組　竹腰　真仁

三年間の高校生活は、気づけばあっという間に過ぎ去っていました。日々に追われ、ただその時々を過ごすのが精一杯でしたが、今振り返ると、とても充実した日々でした。友達と笑いあった日々、クラス全員で力を合わせた学園祭、大好きだった部活動、そのすべてが僕にとってかけがえのない思い出です。

部活動は、入学当初入部を迷っていましたが、コーチに声をかけていただき卓球部に入りました。新チームではキャプテンを務め、思うようにいかず辞めたいと感じることもありましたが、部活の仲間やコーチ、先生方に支えられ、乗り超えることができました。困ったときに手を差し伸べてくれる人がいるありがたさを心から感じました。今振り返ると、部活動をして本当に良かったです。

この三年間で、勉強だけでなく、多くのことを学びました。時間を守ること、遅れるときはきちんと連絡をすること、間違いは素直に受け入れ次につなげること。たくさんの学びを与えてくれた大田高校の三年間にとても感謝しています。三年間ありがとうございました。

四組　松原　侃汰

高校生活はあっという間でした。三年間の中で研修旅行や大高祭といった思い出がたくさんあるのですが、私は日々の休み時間や放課後が印象に残っています。どうでもいいことなのに、なぜか真面目に議論したことや、何について話していたか思い出せないけれど楽しかった記憶だけあるもの。四月からこの時間がなくなると思うと寂しさを感じます。

また、入学当初は部活には入るつもりがなかった私は、部活動紹介の時のS先生によるあの液体窒素の実験に魅せられて自然科学部に入部しました。入部当時は知らない人たちばかりで緊張していたのですが、徐々に打ち解け、部員も増えました。部員たちで雑談しながら実験したり大高祭の準備をしたりと、とても充実した部活動でした。私は人前に立つことが苦手だったのですが、研究発表や質疑応答の経験から、今は苦手意識がなくなりました。咄嗟の対応力も身につけることができ、自分自身の成長を感じています。自然科学部に入部して良かったと心から思っています。

今振り返ると本当に楽しくとても充実した高校生活でした。四月からの新たな生活でも頑張っていきたいです。三年間ありがとうございました。

【学校評価アンケートの結果について】

令和７年度学校評価アンケートの実施に際しましては、生徒の皆さんおよび保護者の皆様にご協力いただき、大変ありがとうございました。今年度のアンケートの結果につきまして概要をお知らせいたします。

本アンケートのねらいは、今年度における本校の教育活動全般について、生徒・保護者・教職員がさまざまな項目で評価し、次年度の目標を設定し、より充実した教育活動を計画・実施していくことにあります。今後はこのアンケートの結果をふまえて、各分掌・学年会等で反省と改善策を検討し、学校運営協議会を経てまとめていきます。その内容につきましては、後日学校ホームページ上にて公表いたしますのでご覧になってください。

保護者による学校評価アンケート（全学年：151名回答）
４：とてもそう思う　３：だいたいそう思う　２：あまりそう思わない
１：全くそう思わない　０：わからない

	評　価　項　目	平均
1	本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.7
2	本校は、地域に係る活動（探究学習など）を通じて、お子様の地域への理解や愛着を深めていますか。	2.8
3	本校は、ＩＴ講演会等を通じて、生徒の、ＩＴへの理解や興味を深めていますか。	2.7
4	本校は、協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて、お子様に深い学びを提供していますか。	2.8
5	本校は、教室内にあるＩＣＴ機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	3.1
6	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	3.0
7	宿題や課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.1
8	本校は、いじめ防止基本方針に基づいた適切な取り組みや対応が実施されていますか。	2.8
9	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.1
10	本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	2.9
11	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.7
12	保護者向け進路説明会等を通じて、進路に関する情報は得られましたか。	3.1
13	キャリア教育（進路学習）を通して、お子様が自分の将来について考えるようになりましたか。	3.0
14	各種の補習（土曜日・平日・夏期・冬期）は、お子様にとって有意義なものになっていますか。	3.0
15	本校のＰＴＡ総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	2.7
16	大田高ホームページ・「泰山木」を通して、学校の様子は伝わっていますか。	2.8
17	本校は、生徒の安全確保（避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.1
18	本校が通知したお子様の定期健康診断結果等の情報は役立っていますか。	3.2
19	本校では、お子様の心身両面の健康状態についての把握や支援について、適切に行っていますか。	2.9
20	お子様は、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができていますか。	3.1
21	本校は相談しやすい学校ですか。	2.9
22	本校は生徒理解に努めていますか。	3.0
23	総合的に見て、お子様を本校に入学させて良かったですか。	3.3

生徒によるアンケート（全学年:333名回答）
４：とてもそう思う　３：だいたいそう思う　２：あまりそう思わない
１：全くそう思わない　０：わからない

	評　価　項　目	平均
1	本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.5
2	地域に係る活動（探究学習など）を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	2.8
3	本校は、ＩＴ講演会等を通じて、生徒の、ＩＴへの理解や興味を深めていますか。	2.6
4	協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて深い学びをすることができましたか。	3.1
5	本校は、教室内にあるＩＣＴ機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	3.5
6	本校は、自分から「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	3.1
7	宿題・課題等に取り組むことが、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.1
8	本校の図書館は利用しやすいですか。	3.2
9	本校の図書の蔵書構成（自分が読みたくなるような本、調べ学習に役立つ本等）は充実していますか。	3.1
10	「図書館だより」などの広報誌の配布、出張図書館や展示は、読書への興味関心につながっていると感じますか。	2.8
11	本校はいじめをしない、させない、許さないための、適切な取り組みや対応が行われていますか。	3.1
12	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.2
13	本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	3.1
14	本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。	3.1
15	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.9
16	進路講演会や学年集会等を通して得た進路に関する情報は役に立っていますか。	3.1
17	キャリア教育（進路学習）を通して、自分の将来について考えることができましたか。	3.1
18	各種の補習（土曜日・平日・夏期・冬期）は、学力向上に効果がありますか。	2.9
19	大田高ホームページ・「泰山木」を通して、学校の様子は伝わっていますか。	2.4
20	本校は、生徒の安全確保（避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.2
21	本校ではあなたの健康管理や維持について適切に対応していますか。	3.2
22	本校では、悩み事等があれば、速やかに対応してくれていますか。	3.1
23	本校では、毎日の清掃をきちんと行っていますか。	3.5
24	人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができましたか。	3.3
25	本校は相談しやすい学校ですか。	2.9
26	学校生活を通して自分のことを理解してもらっていますか。	3.1
27	総合的に見て、本校に入学して良かったですか。	3.0

スローガン「翔舞（しょうぶ）」

大高祭（学園祭）

編集後記

この「泰山木」は、昨年度より総務部が「学校だより」として発行しています。

寄稿していただいた皆さま、遠足・学園祭の集合写真を提供していただいた地崎写真館様、ありがとうございました。

（総務部　佐々木義彦）